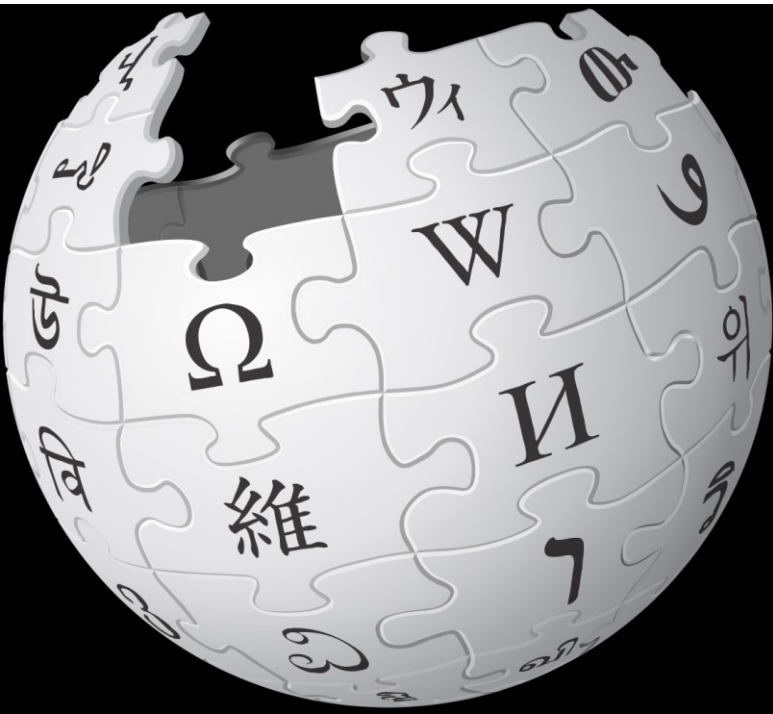


ブラックホールと啓示： ウィキペディアと研究・教育



北村紗衣 (利用者:さえぼー)

武蔵大学人文学部

英語英米文化学科准教授

E-mail: saebou@cc.musashi.ac.jp

Twitter @Cristoforou

プロローグ

- ウィキペディアを日常的に使う方はどれくらいいますか？
 - ウィキペディアを自分で書いてみたことがある方はいますか？
 - ウィキペディアでゼロから記事を立てた(立項)ことがある方はいますか？
 - ウィキペディアンに会ったことがあるという方はおられますか？
 - ウィキペディアを教育で使ってみたという方、あるいは使ってみたいと思う方はおられますか？
 - ウィキペディアは信頼できると思いますか？
- ウィキペディアを信じないでください！！ウィキペディアンからのお願いです。

第1幕 ウィキペディアの信頼性

○ウィキペディアはどのくらい信頼できるか？

- 英語版ウィキペディアは『ブリタニカ』と比べてそこまで信頼できないというわけではない。

Jim Giles, 'Internet Encyclopaedias Go Head to Head', *Nature* 438 (15 December 2005) : 900-901.

- 日本語版も、そこまで信頼性が低いわけではない。

日下九八「ウィキペディア：その信頼性と社会的役割」『情報管理』55.1(2012):2-11。

- 非常に信頼性が高く、読み物としても面白い記事も存在する。

例：[[[地方病 \(日本住血吸虫症\)](#)]]や[[[激おこぶんぶん丸](#)]]

→しかしながら、構造上いくつか問題がある。

ウィキペディア記事の信頼性が下がる要因

- ボランティアで運営されているため、チェックが行き届かない。
 - 必ずしも専門家の意見が反映されるわけではない。
- 誰でも編集でき、エディターは全員(名目上は)平等
コミュニティの合意が重視される
- ジェンダーバイアスが極めて強固である。

2011年に[ウィキメディア財団が行った調査](#)によると、女性のエディターは全体の9%程度、2013年に行われた[別の研究](#)では16%程度だと推定されている。

女性に関する記事が少なく、女性に関するものと見なされていることから削除依頼に出されやすい。

例: [\[:en:Wedding dress of Kate Middleton\]](#)

※「[ウィキペディアが、実は「男の世界」だって知っていましたか](#)」

第2幕 ウィキペディアと大学

- 時実象一、図書館情報学プロジェクト、愛知大学文学部図書館情報学専攻、2007
- アレクシ・ドクール、関西外国語大学のフランス語教育、フランス語版ウィキペディアなど、2010
- 西村和夫、駒澤大学経営学部、2013
- 阿児雄之、Wikipedia執筆実習@東北学院大学博物館情報・メディア論
- [応用力学 Wikipedia プロジェクト](#)
- 英語圏...多数、カリフォルニア大学サンフランシスコ校の医学生による医学記事編集など (2013)

ウィキペディアと専門家

- 1. 専門家として本気で参加 →分野内の監修・統括・議論参加(方針類を含む)
 - 2. 専門家として執筆 →自分の専門分野を書く。
 - 3. 個人として執筆 →専門分野以外で参加。
 - 4. 教育者として関与→授業での活用など
 - 5. ウィキペディアの存在を見越した専門領域での活動→たとえば、自分の研究成果、所属学会誌のオープン化。
- (上記は全て管理者である[[利用者:Ks_aka_98]]さんの科学史学会での発表スライドからの引用です)

英日翻訳ウィキペディアン養成セミナー

○学生の英語力・調べ物技術の向上と、日本語版ウィキペディアの発展を2本の柱とするプロジェクトである。

- ・ウィキペディアの英語記事を学生に翻訳してもらい、日本語記事として公開する。長さや内容などについては授業ごとに指定する。
- ・記事は基本的に教員指定のリストの中から選ぶこととするが、例外もある。
- ・単に英語から日本語に翻訳するばかりではなく、出典が曖昧な箇所や改善できそうな箇所については英語の文献を中心に調査を行って記事内容を改善することを行う。

[プロジェクトページ](#)

[学生の成果一覧](#)

[ウィキペディア15周年の記念サイトにも掲載](#)

授業をすることになったきっかけ

- ・ウィキペディア...「生きた英語」？！

ウィキペディアくらいの文章が読み書きできないと、英語圏でビジネスや学問をするのは難しい。

- ・ウェブを使った情報リテラシー教育と、古典的な訳読を組み合わせた授業ができる。

ウィキペディアにはウソが書いてあることもあるので、出典を確認しながら読んだり訳したりする必要がある。

- ・社会貢献できるというモチベーション

自分が翻訳したものが日本語を話すたくさんの人の役に立つということで、一種の専門技術を用いたボランティア活動であるため、やる気を保ちやすいのではないかな？

結果

○翻訳のほうが新規執筆よりもはるかに記事作成ハードルが低い

- ・既に英語版にある記事なので、特筆性で削除されることがまず無い

→ただし、日本語版で孤立する可能性があるような記事もある。また、元記事が著作権違反だった場合や、学生が履歴継承をせずアップしてしまった場合はこの限りではない。

- ・スタブにならない

→5000バイト以下の記事は基本的に作らないことにしているため、スタブになることはまずない。やや短いものや全体がカバーできていないものはあるが、削除対象となるほどではない。

- ・需要のある記事、「面白い」記事を作ることができる

- ・過程もオープンになる

課題

- 学生の情報リテラシー不足
 - 学生の英語力・日本語力不足
 - 採点にかかる時間
 - 教員に知識のない分野(数学・自然科学・スポーツなど)
 - 翻訳する記事の選び方
 - 悪文
 - 性的・暴力的な内容のもの
- アフリカやアラブの春関係の記事翻訳を検討し、殺戮・性暴力・拷問などの内容が残酷すぎるということで断念した学生も
- 性的内容...[[[オナイダ・コミュニティ](#)]]くらいが限度か？
- 暴力的内容...[[[血の金曜日事件 \(1972年\)](#)]]くらいが限度か？

登壇者が主催した活動

専門家とウィキペディアをつなぐ試み

- ・科学史学会2016「[ラウンドテーブル:ウィキペディアと科学史——知識とコミュニケーションを考える](#)」

ウィキペディアンと研究者を呼んだ交流セッション

- ・[研究者・教員向けウィキペディア記事の書き方講習会](#)

教育や研究のアウトリーチでウィキペディアを使用したい研究者・教員向けにウィキペディアの書き方をレクチャー

→要望があればまた開催します。

エピソード



ヨーロッパ南天文台

研究成果を是非是非オープンにしてください！

それが研究者がウィキペディアにとってできることです。

クリエイティブ・コモンズのライセンスで成果を公開しましょう！